

チャレンジ 『challenge』



令和4年11月24日
文責 安井 仁

生き方に学ぶ ～「ふるさと先生に学ぶ」～

さまざまな職域で活躍されている岩美町に縁（ゆかり）のある社会人講師をお招きし、11月17日（木）にキャリア教育「ふるさと先生に学ぶ」を実施することができました。ご講演いただいた方々の職種は起業家、漫画家、窯元、保護司の方です。*紹介は裏面にて

地元鳥取で生きることについて理解を深めるとともに地域の先輩の「人生観」や「職業観」について学ぶなかで、自分の進路や社会人としての「生き方」について考えていこうとする態度を養うことを目的として、子供たちは希望した2つの講演を受講しました。お話の中で働くことの意義だけでなく、人との繋がり大切さ、粘り強く続けること大切さなどよりよく生きていくために必要なことを伝えていただきました。どの講師の方もさまざまな苦勞を乗り越え、今の仕事に誇りを持って生きておられることが伝わってきて、私自身改めて「働くこと」は「生きること」であると実感することができました。4名の講師の方にはお忙しい中、本校生徒の学びのために貴重なお時間を割いていただき感謝です。

また生徒のみなさんが、会場準備や司会進行、講師の方の案内も担当しました。親や教師ではない大人と接することで大変緊張していましたが、何とか無事進行することができたようです。自分たちで会を作り上げる難しさも感じてくれたのではないのでしょうか。子どもたちにとっては教師以外の大人に触れることも大切です。ぜひ1年生での「キャリア教育」推進の根幹にしてみてください。これから10年、20年後の社会はどうなっているのか想像することも難しい世の中です。その時、社会人として活躍しているお子さんはどんな生き方をしているのでしょうか。楽しみでもあり、不安でもあります。将来を思い描くとき、大切なことは「今」をしっかり見つめることだと思います。将来やりたいことをやるために、「今」しなくてはならないことは何なのか、将来のために「今」身につけないといけないことは何なのか考えることです。何の努力もなく、なんとなく生きていく人に、求めているような未来が来るとは思えません。今回の講演が自分の生き方について真剣に考えるきっかけとなってくれば幸いです。今月末には2学期末テストがあります。将来の自分のためにがんばる姿を期待しましょう。



【講師の方の紹介】



保護司 虎井 良一さん



起業家 酒本 勇太さん



窯元 山下 清志さん



漫画家 武田 愛子さん

【生徒の振り返りより】

*原文のままです

私は最初「保護司の方は、罪を犯していた人と関わる人にな」と思ひ、重く感じてはいたけれど、みんな「人」であることを前提として聞いていると、ちゃんと自分が後向きにならず、虎井さんと尊敬しました。人は一人で生きることができないと改めて実感して詩を聞けてよかったです。生きていく上で、とても大事なことが見つけられに良かったです。私はこれから夢を見つけて、「自分」やその職業に誇りが持てるようになります。

自分の好きを仕事にしている酒本さんを見て、今自分が続たいもの、好きなものを通してできる事がすごいなと思いました。たくさんの人と出会い、悩みなながらも自分の道を進んで行く酒本さんはかっこいいなと思いました。何していいかと思った時に外に「たい！」と決断するのは私にはできないし、思いつきでも構わないので、自分も酒本さんみたいにたのしいなと思いました。

サラリーマンから陶芸の世界に入ったと聞いて驚きました。それから54年も続けられてすごいなと思いました。54年間で、いろいろな人に出会ってこれたのだなと思いました。岩美町に「浦富焼」というものがあったということを知りました。また、誰もやらない窯を築くことをやっていたから、こいいなと思いました。今回、私は山下さんの「最高傑作はない」「今以上のものをつくりたいのくり返し」という考え方が印象に残っていて、これからの人生に活かそうだなと思いました。

私にはなりたい職業はまだないけれど、難しく考えなくていいんだと思いました。マンガが大好きで、実際に書いている所を見てすごい！とわくわくしました。「継続」や夢を見つけるために読者や「人に出会う」ことが大切など、とても参考になりました。私はこの授業を通して、将来の可能性を広げるために勉強をがんばろうと改めて思いました。好きなことをお仕事にしている、もちろん大変な部分もあると思うけれど、うれしいときもたくさんあると思うのでいいなと思いました。